

令和4年第3回定例市議会

教 育 行 政 報 告

恵庭市教育委員会

第3回定例会が開催されるに当たりまして、第2回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

I C T等の教育環境整備について

はじめに、I C T等の教育環境整備について申し上げます。

国の「G I G A（ギガ）スクール構想」に基づき、I C T教育環境の整備を進めているところでありますが、本年度、小学校1年生から3年生までの未整備分及び、教職員が授業で使用する分のタブレットパソコンを、7月に整備いたしました。

本年度で、市内小中学校の全児童生徒の1人1台タブレットパソコンの整備が完了したことから、授業や家庭において、各学年に応じた効果的な活用を進めて参ります。

和木町教育親善使節団の受入について

次に、和木町教育親善使節団の受入について申し上げます。

姉妹都市である山口県和木町との教育親善使節団の派遣事業は、昭和56年から実施しており、今回で22回目となりました。

本年度は、和木町から恵庭市に派遣される年で、7月27日から29日までの3日間、小中学生4名と引率者2名の計6名を受け入れ、交流を行いました。

今回は、コロナ禍によりホームステイは行わず、恵庭市の児童生徒15名と一緒に市内の「はなふる」などや札幌市の施設を見学し、和木町と恵庭市の児童生徒が交流を深めたところであります。

学校訪問について

次に、学校訪問について申し上げます。

4月の校長・教頭合同会議において、本年度の教育行政執行の基本方針を示したところでありますが、5月26日から7月14日までの期間に、教育委員と教育委員会事務局とが全ての小中学校を訪問し、学校教育基本方針に基づいた各学校の取組について確認を行うなど、学校経営

	<p>における課題を共有したところであります。</p> <p>今後も各学校と連携しながら、教育の充実に努めて参ります。</p>
<p>いじめ防止について</p>	<p>次に、いじめ防止について申し上げます。</p> <p>7月21日、市民会館にて、いじめについて考える「なかよしさわやかDAY」全市交流会を児童・生徒47名と、保護者や教職員をあわせ84名の参加のもと、3年ぶりに対面で開催いたしました。「あなたならどうする？ これっていじめになるの？・・・」をテーマに、小・中学生が混合となり7つのグループを編成し、様々な角度から「いじめ」について考え、活発な意見交換が行われました。</p> <p>今後もいじめの根絶に向けて、学校や家庭・地域・関係機関と連携して取り組んで参ります。</p>
<p>通学路の安全確保について</p>	<p>次に、通学路の安全確保について申し上げます。</p> <p>道路管理者や警察などを構成員とする恵庭市通学路安全推進会議と連携して、7月27日に通学路の合同点検を実施いたしました。</p> <p>今後は、点検結果を踏まえ関係機関や担当部局と対応策等について協議し、各学校へ報告することとしております。</p>
<p>子どもたちの体験活動について</p>	<p>次に、子どもたちの体験活動について申し上げます。</p> <p>子どもたちがさまざまな体験活動を通して興味・関心を持ち、夢を育むことを目的に、えにわ子ども塾事業として「おもしろ理科実験教室」、「初めてのユーチューバー体験」を開催し、多くの参加者により好評を得たところであります。</p>
<p>ジュニアリーダーの養成について</p>	<p>次に、ジュニアリーダーの養成について申し上げます。</p> <p>恵庭市子ども会育成連合会との共催により、7月30日、31日の1</p>

	<p>泊2日で、ジュニアリーダーの養成を目的とした「前期えにわっ子ジュニアセミナー」を3年ぶりに開催いたしました。定員を超える27名の参加があり、野外炊事などを通してリーダーの心構えを学ぶ機会といたしました。</p>
<p>文化芸術活動の推進について</p>	<p>次に、文化芸術活動の推進について申し上げます。</p> <p>コロナ禍における文化芸術活動の推進事業として、市内で創作活動を行っている団体等の作品を鑑賞する機会の拡充を目的とした「えにアートギャラリー」において、6月から2団体1個人による書や原画の展示が行われたところであります。</p> <p>また、郷土芸能の振興保存と伝承活動を推進するため、「恵庭すずらん踊り保存会」と「恵庭岳太鼓保存会」の活動を支援しておりますが、ガーデンフェスタ北海道2022や夏祭りなどに出演し、市内各所で大いに活躍したところであります。</p> <p>今後も芸術の秋に向け、個人、文化団体及びサークルなどの活動成果を発表する市民文化祭の開催など、市民の文化芸術活動の推進に努めて参ります。</p>
<p>子どもの読書活動の推進について</p>	<p>次に、子どもの読書活動の推進について申し上げます。</p> <p>7月28日に図書館本館において調べる学習講習会を開催し、「恵庭市小中学生調べる学習コンクール」の調べ方やまとめ方についてのポイントを説明し、児童生徒の自ら学ぶ意欲を高める機会といたしました。</p>
<p>図書館事業について</p>	<p>次に、図書館事業について申し上げます。</p> <p>図書館本館では、6月25日から7月24日までのガーデンフェスタ北海道2022の開催に合わせ、ガーデニングをテーマとした関連本の紹介等、「花のまち」の図書館ならではの展示を行い、多くの来館者が立</p>

ち止まり、本を手にしていただきました。

また、7月7日と8日の2日間、ガーデンフェスタ会場内に「出張まちじゅう図書館」を設け、恵庭まちじゅう図書館参加施設によるお勧めの本の紹介や、絵本のミニ原画展を行い、道内外のお客様に「読書のまち恵庭」をPRいたしました。

図書館開館30周年について

次に、図書館開館30周年について申し上げます。

7月30日で図書館が開館して30年となり、その節目として、図書館の歩んだ歴史を振り返るパネル展示を行い、当日の来館者にはオリジナルマグカップをプレゼントいたしました。

これからも、全ての市民が読書に親しめるよう、更なる読書環境の充実を図って参ります。

郷土資料館事業について

次に、郷土資料館事業について申し上げます。

郷土資料館では、「石の魅力」をテーマとした企画展と「戦争資料展」を開催したほか、夏休みのイベントとして「夏休みクイズ&スタンプラリー」を実施し、多くの子供たちに楽しんでいただきました。

また、7月23日に「まが玉づくり」や北海道文教大学のご協力による「朗読劇」を主体とした「第9回カリンバまつり」を開催し、8月6日～7日には「アイヌ文化マスター育成事業」として市内中学生6名がアイヌ文化の根付いている阿寒湖アイヌコタンに宿泊し、様々な体験学習を受けてきたところであります。

埋蔵文化財関連事業について

次に、埋蔵文化財関連事業について申し上げます。

埋蔵文化財の保護と史跡整備への理解を深めていただく事業として、今年度3回目の「カリンバ土曜講座」を9月10日に開催し、令和3年度の「ユカンボシE1遺跡の発掘調査成果」について講演を行いました。

また、7月20日から柏陽町3丁目の「柏木川9遺跡」において商業施設建設に伴う発掘調査を行っており、数多くの竪穴住居跡などが確認されております。

今後も、埋蔵文化財の保護をはじめ、各種啓発・普及事業を推進して参ります。

以上、第2回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねてまいる所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げます、教育行政報告といたします。